鉄金属

触媒開発に参画

ャパと発水素や化金属資す

トヨタ学など。20第1期

の活動では世界で初めて人工光合成の実証試験を開始。第二期は今後10年間で、触媒や水素分離膜の開発、安全性検証などテーマごとに社会実装を見据えた技術開発を推進する。活動は新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のグリーンイノベーション基金事業の一環として行われる。

同社グループは社会全体の脱炭素化に向け、これまでも人工光合成用触媒の開発を進めており、21年6月から人工光合成用触媒の第一人者である信州大学の堂免教授の研究室と共同開発を行っている。アープケムへの参画により人工光合成の社会実装に寄与することで、カーボンニュートラルの実現につなげたい考え。

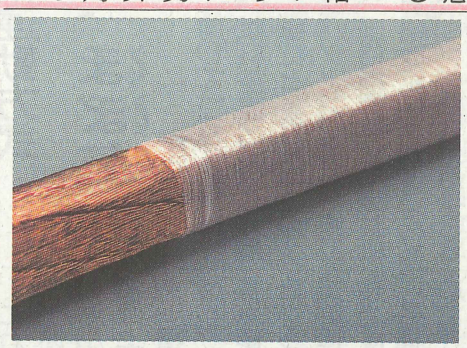
りが意が押し。

金価格の77連続の2月にナ情勢ら上昇り、月%高のいる。

東特巻線

リッツ銅線「角形品」を開発

電動車非接触給電を高速化



開発品の「SQLW四角断面リッツ線」。コイル小型化にも貢献する

電線加工メーカーの東特巻線（本社・長野県上田市、社長・本多豊氏）は電動車の非接触給電向けに角形リッツ線を開発した。リッツ線は絶縁加工した極細銅線を撚り合わせた材料。開発品は断面を四角形に成形することで高密度なコイル巻を可能にし、電流を流れやすくした製品。給電速度向上やコイル小型化などに貢献する。またロボットやドローンなどの非接触給電用途にも期待している。現在はサンプル出荷段階で今秋の量産化が目標。3年後に年間4億円の売り上げを目指す。

非接触給電は送電・受電用の二つのコイルを用いて無線方式で給電する技術。電子機器用などで実用化されており、将来は電動車での採用拡大が見込まれる。新型リッツ線はコイルの主要構成材料。大電流を短時間・高効率に送電する電動車向けのニーズに応えるため約3年前から開発を進めてきた。流せる電流値は従来品から2割程度向上するほか、同じ電流を流す場合は1～2割断面積を小さくできる。そのため給電高速化や、コイル小型化による車の設計自由度向上に貢献する。角形のリッツ線は非常にめずらしい。

製造は丸断面の一般形状のリッツ線を加圧成形。角形加工しても崩れない撚り方や、コイル巻きができるしなやかさを出す技術で製造を可能にした。また成形装置は機械メーカーと共同開発。需要が拡大すれば装置増設も視野に入れる。将来的には事業をけん引する主力製品の一つに育てたい考えだ。同社は東京特殊電線の関係会社で1956年に発足。従業員数は約40人で、売上高は約12億円。リッツ線など電線加工に加えハーネス加工やコイル・巻線加工などの事業も行っている。

2月後半積みアルミ原料買値

関東、上物10円上げ

二次合金メーカー

大手アルミ二次合金メーカーと原料問屋間で行われた関東地区の2月後半積みアルミスクラップ原料買値交渉は、アルミ成分の高い上物類が引き上げとなった一方、合金削粉など上物類と比べ成分が低いスソ物類は横ばいが中心となって決着した。上物類の引き上げ幅はおおむねキロ当たり10円。海外アルミ相場の上伸を反映した。

アルミ新地金価格の指標となるロンドン金属取引所（LME）アルミ相場はウクライナ情勢の緊迫化を背景とする供給懸念の高まりによって上伸。3カ月先物価格は3200ドル台を中心とした値動きで、月初比5%高の水準となった。

アルミ二次合金メーカーのアルミスクラップ需要は自動車メーカーの生産調整を背景に乏しい。また、今月は決算を控えたメーカーの買い控えもあり、荷動きは限定的となっている。スソ物類は需給材料が交渉の中心となりやすく、これらが買値据え置きに影響したとみられる。

中部地区の原料買値

上物10～20円、スソ物5円上げ

中部地区のアルミ二次合金メーカーは2月後半のアルミ原料買値を、2月前半比で上物は10～20円上げ、スソ物は5円引き上げた。アルミ新地金相場高が要因。足元の同相場に天井感がなく、市況は先高含み。

自動車関連の生産調整に伴い、合金筋の大半が減産を余儀なくされている。市中発生が少ない状況が続くものの、合金メーカーは生産見合いの原料を確保している。しかし、新地金相場高が原料問屋間で強まっ上級品のみ大幅な踏み継続を筋も生が立っ金の減にひっない」が、目高が市する展だ。

トヨ

1月の銅電線出荷

微増の5万800トン

建設関連など増加

日本電線工業会は18日、1月の銅電線出荷統計（推定値）を発表した。各分野の合計量は5万800トンで前年同月比0・5%増。電気機械や自動車向けなどが減少したものの、建設・電販やその他内需向けなどがけん引し同8・3%減。昨年1月は比較的高い出荷水みられでの前

銅電線の21年12月、22年1月の主要部門別出荷量

（単位：トン、%）

	12月実績	前年同月比	1月推定	前年同月比
【銅電線】				
通信	723	▼2.7	700	▼18.6
電力	3,456	1.8	3,700	▼8.3
電気機械	11,368	▼3.0	10,800	▼2.5
自動車	7,805	▼0.1	6,200	▼14.8
建設・電販	26,144	▼0.3	24,000	3.5
その他内需	3,407	3.7	4,300	39.6
内需計	52,903	▼0.5	49,700	0.4
輸出	907	▼11.6	1,100	6.6